

## 県・市等の内水対策等の取り組み状況と課題

1. 米子市 都市整備部 道路維持課 ..... 7
2. 境港市 建設部 管理課 ..... 16
3. 松江市 都市整備部 河川課 ..... 22
4. 安来市 上下水道部 下水道課 ..... 25
5. 鳥取県 県土整備部 空港港湾課 ..... 27
6. 島根県 土木部 河川課 ..... 28
7. 島根県 農林水産部 農村整備課 ..... 31

## 県・市の内水対策等の取り組み状況、及び課題等の対応状況(令和元年度)

No	機関名	取り組み状況	取り組みに対する課題等	課題に対する検討・対応状況
1	米子市 都市整備部(道路整備課)	1. 計画事業 祇園町地区内水排除計画 2. 計画年次 平成15年度～ 3. 計画箇所 米子市祇園町地区 4. 取り組み概要 高潮と降雨の同時発生により浸水被害が発生しており、平成15年度から平成16年度に貯水槽(鉄筋コンクリート構造)V=107.7m <sup>3</sup> 1基 及び排水ポンプ11kw5.0m <sup>3</sup> /min 1基を鳥取県が設置し、平成23年度より米子市が引き継いでおります。	現在設置された貯水槽及びポンプのみでは、地区全体の内水排除は十分ではなく、今後、上流域の流出流量の分散及びポンプ能力の向上を図る必要がある。	鳥取県が設置し、市が樋門管理委託を受託している別添図面の樋門のうちB-3の簡易樋門を除き、平成22年度、鳥取県において漏水を防ぎ水密性を高める工事を行っていただいた。 また、内水排除として平成23年度に道路横断管の設置工事を実施するとともに仮設ポンプを1基設置しました。 平成24年度からは2基設置を行なっている。 令和元年度も2基設置予定 (仮設ポンプ設置期間:6月～10月)
2	米子市 都市整備部(道路整備課)	1. 計画事業 準用河川四反田川樋門設置事業 2. 計画年次 平成10年度～ 3. 計画箇所 米子市陰田町地区 4. 取り組み概要 中海の潮位上昇に伴う準用河川四反田川からの逆流防止のため仮設排水ポンプ設置を行った。	樋門を閉じた場合の内水排除が必要である。	平成24年度から内水排除対策として仮設排水ポンプを1基設置した。 令和元年度も設置予定 (仮設ポンプ設置期間:6月～10月)
3	境港市 建設部(管理課)	1. 計画事業 外江地区内水対策事業 2. 計画年次 平成21年度～ 3. 計画箇所 境港市外江 4. 取り組み概要 外江地区は、家屋が連担する住宅密集地ですが、護岸背後の地盤が低いために高潮時には、内水等による浸水被害をたびたび受けてきました。これまでの高潮時の内水対策は、護岸背後地の排水路河口に設置されている集水樹に、移動式水中ポンプ(仮設ポンプ)を設置して内水を排除してきましたが、これらの方法では、人員確保や稼働までに時間を要する等の問題点があったことから、これまでの問題点を解消するため固定式の内水排除ポンプ施設の整備を行い、内水対策に取り組んでいます。	外江地区の内水対策については、固定式の内水排除ポンプ施設の設置により、これまでの高潮時の排水は対応できていますが、高潮と降雨が重なった時は、ポンプの容量が不足するため、移動式ポンプ(仮設ポンプ)の設置も必要となっています。公共下水道事業にあわせ、計画降雨に対応する排水機場の早期整備が必要となっています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成21年度:外江中央都市下水路最下流部にマンホール式水中ポンプ施設設置(設置:境港管理組合)(平成28年3月に境港市に移管)</li> <li>・平成23年度:外渡都市下水路最下流部にマンホール式水中ポンプ施設設置(設置:境港市)</li> <li>・平成29年度:外渡都市下水路最下流部に設置してある施設にポンプを増設。(設置:境港市)</li> <li>・令和元年度:公共下水道事業計画の変更認可(認可拡大)の手続きを行い、外江地区が新たな事業認可区域となることから、今後、この計画に基づく雨水整備を進めて行く予定としている。</li> </ul>

## 県・市の内水対策等の取り組み状況、及び課題等の対応状況(令和元年度)

No	機関名	取り組み状況	取り組みに対する課題等	課題に対する検討・対応状況
4	境港市 建設部 (管理課)	<p>1. 計画事業 西工業団地排水路改修事業</p> <p>2. 計画年次 平成24年度～</p> <p>3. 計画箇所 境港市西工業団地</p> <p>4. 取り組み概要</p> <p>当該地区には、民間所有の水域貯木場があり、斐伊川本線(中海)との間において湖岸堤が未整備で開口状況にあることから、高潮時には背後地の工業団地や住居地域に、その影響が及んでいます。</p> <p>これらのことから、平成22年9月に策定された斐伊川水系河川整備計画において、中海湖岸堤整備の短期整備箇所に位置づけられました。</p> <p>河川整備計画に基づき、湖岸堤が整備されることにより、中海と水域(貯木場)が締め切られることから、背後地域における現況の雨水排水システムを見直す必要が生じたため、本市では、現況の雨水排水システム調査を実施し、適切な排水ルートを決定するとともに、新たな排水路や樋門整備を行っているところであります。</p>	<p>雨水排水のための排水路は、現在、南北方向の排水路改修について、平成30年度補正予算で整備を進めています。</p> <p>また、来年度から2力年で、東西方向の排水路の湖岸堤接続部の樋門整備を行い、その後、排水路を順次整備することになっていますが、いずれにしても、早期の整備が必要となっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度:西工業団地現況雨水排水システム調査・雨水基本設計業務</li> <li>・平成25年度:西工業団地雨水実施設計業務・樋門予備設計業務</li> <li>・平成26年度:樋門詳細設計業務</li> <li>・平成27年度:樋門改築工事(北側)</li> <li>・平成28年度～令和元年度:排水路改修工事(南北)</li> <li>・令和2年度～:樋門(西側)及び排水路(東西)の整備を進めていく予定としている。</li> </ul>
5	境港市 建設部 (管理課)	<p>1. 計画事業 渡漁港周辺整備事業</p> <p>2. 計画年次 平成22年度～</p> <p>3. 計画箇所 境港市渡漁港周辺</p> <p>4. 取り組み概要</p> <p>斐伊川水系では、河川河整備計画を基に国、関係自治体が連携し順次浸水対策を進めており、『渡漁港』は、斐伊川水系・中海湖岸堤整備箇所のうち早期整備を目指す短期整備箇所に位置づけられ、優先的に整備を進めてきたところであります。</p> <p>国事業である『渡漁港』の海側への移設(湖岸堤整備)により、中海からの直接的な浸水被害は解消されますが、渡漁港周辺地区は、「地盤が低いことによる浸水」や「道路が狭小」など、防災上の問題があることから、国が行う湖岸堤整備とあわせて、旧漁港を埋立、その敷地を活用し、「内水排除施設」や「周辺道路の拡幅」を行うことで、渡漁港周辺地区の安全で安心して快適な生活環境の実現を目指します。</p>	<p>内水排除施設については、平成30年度から排水機場の躯体工事に着手していますが、年次計画にそった予算の確保や交付金などの財源を確保する必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22年度～平成23年度:測量・設計・用地</li> <li>・平成24年度～平成27年度:湖岸堤整備(渡漁港移設)</li> <li>・平成28年度:旧渡漁港埋立</li> <li>・平成27年度～:道路拡幅整備</li> <li>・平成30年度～:内水排除施設整備</li> </ul>

## 県・市の内水対策等の取り組み状況、及び課題等の対応状況(令和元年度)

No	機関名	取り組み状況	取り組みに対する課題等	課題に対する検討・対応状況
6	松江市 (河川課)	<p>1. 計画事業 河川・排水路改良事業</p> <p>2. 計画年次 通年</p> <p>3. 計画箇所 松江市大井町～美保関</p> <p>4. 取り組み概要 地元要望等に基づき、松江市内全域を対象に行っている河川排水路改良工事のなかで、中海沿岸の普通河川においても、内水対策のため改良工事を実施している。 また、治水対策の一環として、中海に放流する普通河川についても浚渫事業に取り組んでいる。</p>	<p>限られた事業費の中で、市内全域を対象とした事業であり、中海の計画エリアに集中して投資できないため、中海の湖岸堤整備にあわせ、普通河川及び排水路の取付け区間を十分確保し整備願いたい。</p>	<p>①新庄地区は、平成28年度に平地川改修(ブロック積護岸)事業により、20m施工した。なお、平成17年度から平成29年度までの間、改修工事を実施しており、413m施工済みである。 今後の当地区における河川改修については、昨年度から事業着手した圃場整備事業【新庄地区農地中間管理機構関連農地整備事業(事業主体:島根県、事業工期H30～H35予定)】において、圃場整備区域内の改修を進めていくこととしており、現在は事業内での河川整備設計計画の協議中である。 また、平成27年度から平成29年度には、逆流防止施設の整備を行った。</p> <p>②長海地区は平成28年度に出雲河川整備事務所による護岸整備に伴い樋門が完成し、平成29年2月に引き渡しを受け、松江市河川課で維持管理を行っている。また、湖岸堤整備と連携した内水浸水対策として上流側の排水路整備を計画しており、平成28年度は測量調査業務、平成29年度は用地測量を実施した。</p> <p>③東出雲地区は、都市計画道路揖屋馬潟線の道路整備に合わせて、樋門等の改修を計画しており、今年度は、座頭川の樋門改修工事を実施する。</p>
7	松江市 (河川課)	<p>1. 計画事業 下水道雨水事業</p> <p>2. 計画年次 令和元年度～令和5年度</p> <p>3. 計画箇所 東出雲町地内</p> <p>4. 取り組み概要 浸水被害の軽減を図るため、中海に接続する雨水渠については、平成28年度から平成30年度に管渠及び、逆流防止施設の整備を行った。 昨年度、新たに5か年の雨水整備計画を策定し、雨水渠の整備を継続して行うこととしている。 また、平成29年度から実施した排水機場ゲートの改良は、平成30年度に完成し、現在は供用を開始している。</p>		

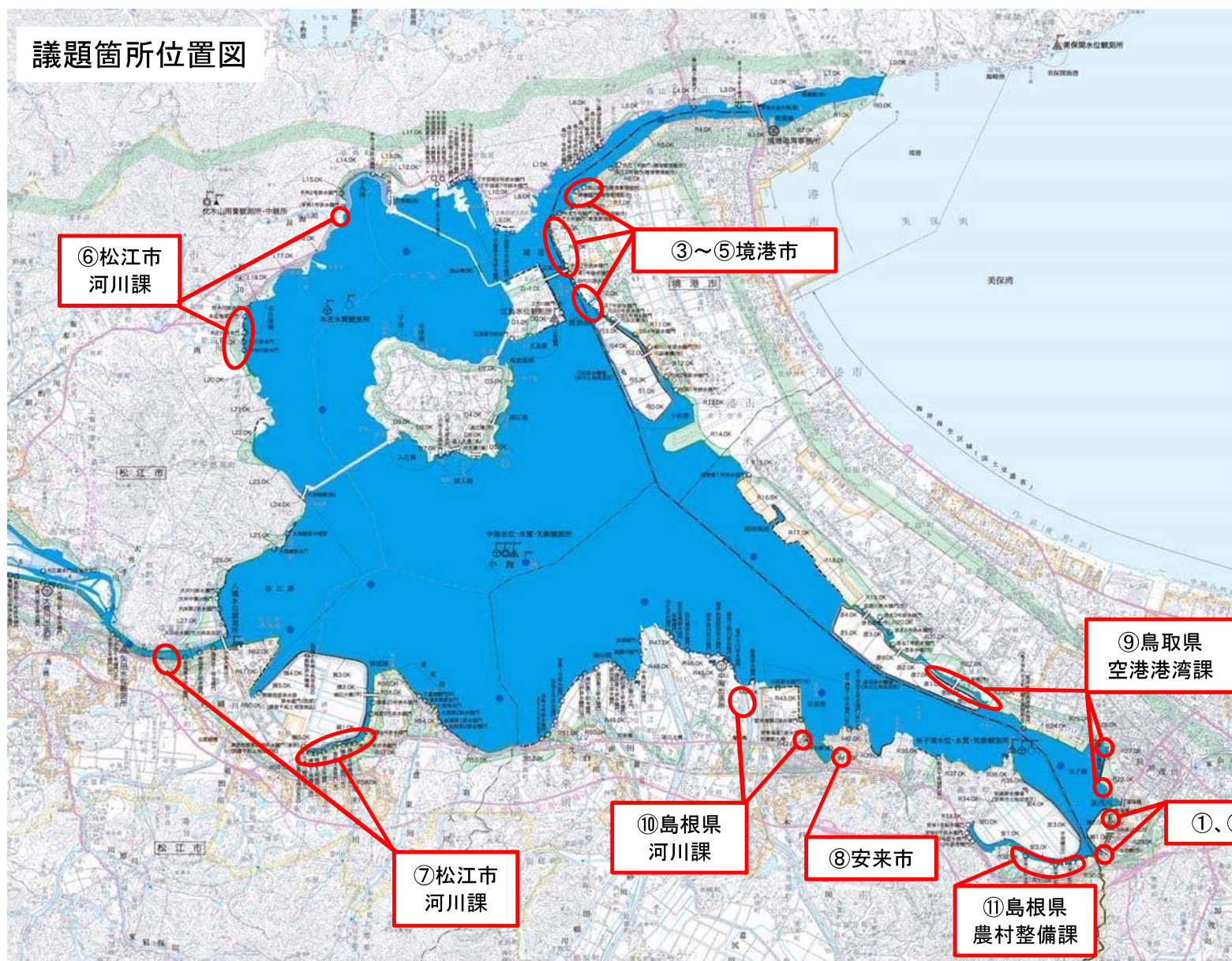
県・市の内水対策等の取り組み状況、及び課題等の対応状況(令和元年度)

No	機関名	取り組み状況	取り組みに対する課題等	課題に対する検討・対応状況
8	安来市 上下水道部 (下水道課)	1. 計画事業 下水道雨水排水整備事業 南十神地区 2. 計画年次 平成25～30年度 3. 計画箇所 安来市南十神地区 4. 取り組み概要 1) 西ノ川水路と前ノ川水路を連結し下流で1本化を図る。 2) 中海の潮位上昇による逆流防止と洪水時の内水排除のためにゲートポンプを設置する。		
9	鳥取県 (空港港湾課)	<b>【米子港】</b> (湖岸堤) ・短期整備区間は整備済み。 ・短中期整備区間のうち、中海・錦海かわまちづくり計画に関連する区間以外は整備済み。 ・短中期整備区間のうち、中海・錦海かわまちづくり計画に関連する区間は国土交通省と調整中。 (移管) ・背後に港湾施設の無い地域の護岸の引き継ぎについて国土交通省から具体的な移管条件が示されており、移管条件を整理中。	<b>【米子港】</b> (湖岸堤) ・中期整備区間の湖岸堤の設置位置や構造が未決定。 (移管) ・護岸の国土交通省への移管にあたり、具体的に示された移管条件の整理に期間等を要する。	<b>【米子港】</b> (湖岸堤) ・中期整備区間の設置位置や構造について、引き続き国土交通省と調整を行う。 (移管) ・移管条件の整理を進めながら、引き続き国土交通省と調整を行う。
10	島根県 (河川課)	1. 計画事業 吉田川、木戸川浸水対策事業 2. 計画年次 平成24年度～平成28年度 3. 計画箇所 ①一級河川吉田川 安来市下坂田町福井地区 ②一級河川木戸川 安来市安来町河口付近附近 4. 取り組み概要 ・1級河川吉田川 「福井団地」の浸水対策として、平成24年度に中海計画高水位までの堤防嵩上げ、平成25年度に大型水路の逆流防止ゲートの工事が完了し、当面の対策は完了。 ・1級河川木戸川 木戸川河口部の浸水対策として、平成26年度に中海計画高水位までの左岸堤防嵩上げ工事が完了。平成28年度には、納屋川の逆流防止ゲートが完了し、当面の対策は完了。	・1級河川吉田川 福井大橋から飯島橋(国道9号)の間については、計画堤防高が確保されていない。 ・1級河川木戸川 河口から昭和橋(国道9号)の間については、計画堤防高が確保されていない。	・現在、吉田川、木戸川ともに上流区間の改修を優先的に進めており、こうした継続事業の状況を勘案しながら対応していく。 なお、木戸川河口部については、現在、国が行う中海湖岸堤整備と調整中。

県・市の内水対策等の取り組み状況、及び課題等の対応状況(令和元年度)

No	機関名	取り組み状況	取り組みに対する課題等	課題に対する検討・対応状況
11	島根県 (農村整備課)	<p>1. 島田地区国営代行干拓事業 位置: 安来市島田町 工期: 昭和26～38年度 概要: 農地等造成37.3ha(田3.3ha、畑1.8ha、その他2.2ha) ※干拓堤防延長: 約1.8km</p> <p>2. 島田地区干拓堤防の管理 管理対象: 干拓堤防(延長1.8km、土地1.4ha) 堤防管理者: 島根県 管理委託協定 S62年4月1日付け 委託者: 農林水産省 受託者: 島根県 管理概要: 県単予算により管理 H14～草刈り等管理実施 H20～堤防補修(段階的)実施 H22 堤防全区間補修L=1,730m、事業費1.4億円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元から、国土交通省への堤防移管の要望あり。</li> <li>・農政局・島根県・国土交通省出雲河川事務所で移管についての協議を継続して実施しているが、築堤目的が農地の保全であること、堤防の健全度の確保等の課題がある。</li> </ul>	<p>農政局、国土交通省出雲河川事務所、県で移管についての協議を継続中。</p> <p>○現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移管対象施設の構造等の資料を出雲河川事務所へ提出。</li> <li>・H25年度に対象施設の追加調査として、堤防の健全度調査を実施。</li> <li>[調査結果]→島田地区干拓堤防の最下流部580mについて対策が必要。</li> <li>・H27.6に出雲河川事務所に調査結果を説明し、要対策区間580mを確認。</li> <li>・H28.2に安来市と協議し、後背地の利用・開発状況の変化と地域住民の意向を確認しながら国交省との移管協議を継続することと、地震時の点検等の管理は県で適切に行うことを確認。</li> <li>・H30.12に出雲河川事務所と情報交換を行ったが、浸水被害の発生するおそれが少ないこと、後背地の利用・開発状況、地元要望の状況等をふまえると、現時点では、移管を受けるのは困難との見解が改めて示された。</li> <li>・R1.6に安来市と情報交換し、その後の利用状況や地元の意向に大きな変化がないことを確認。</li> <li>・今後も、上記調査結果を含め、移管に係る協議を継続。</li> </ul>

# 議題箇所位置図



(別 表)

## 中海に係る内水対策の取り組みの現状と課題、及び対応状況

(米子市都市整備部道路整備課)

○内水対策の取り組み状況	
1. 計画事業名	祇園町地区内水排除計画
2. 計画年次	平成15年度～
3. 計画箇所(エリア)	米子市祇園町地区 (別途図面、写真を添付)
4. 取り組みの概要	高潮と降雨の同時発生により浸水被害が発生しており、平成15年度から平成16年度に貯水槽(鉄筋コンクリート構造) $V=107.7\text{ m}^3$ 1基及び排水ポンプ $11\text{ kW}$ $5.0\text{ m}^3/\text{min}$ 1基を鳥取県が設置し、平成23年度より米子市が引き継いでおります。
○取り組みに対する課題等	
現在設置された貯水槽及びポンプのみでは、地区全体の内水排除は十分ではなく、今後、上流域の流出流量の分散及びポンプ能力の向上を図る必要がある。	
○課題等に対する検討・対応状況(取り組みの進捗状況)	
鳥取県が設置し、市が樋門管理委託を受託している別添図面の樋門のうちB-3の簡易樋門を除き、平成22年度、鳥取県において漏水を防ぎ水密性を高める工事を行っていただいた。	
また、内水排除として平成23年度に道路横断管の設置工事を実施するとともに仮設ポンプを1基設置しました。	
平成24年度からは2基設置を行なっている。	
令和元年度も2基設置予定(仮設ポンプ設置期間:6月～10月)	



【写真】

○ポンプ（承水路側から見て）



○ポンプ（道路側から見て）



○仮設排水ポンプ（承水路側より）



○仮設排水ポンプ（道路側より）



○仮設排水ポンプ（承水路側より）



○仮設排水ポンプ（道路側より）

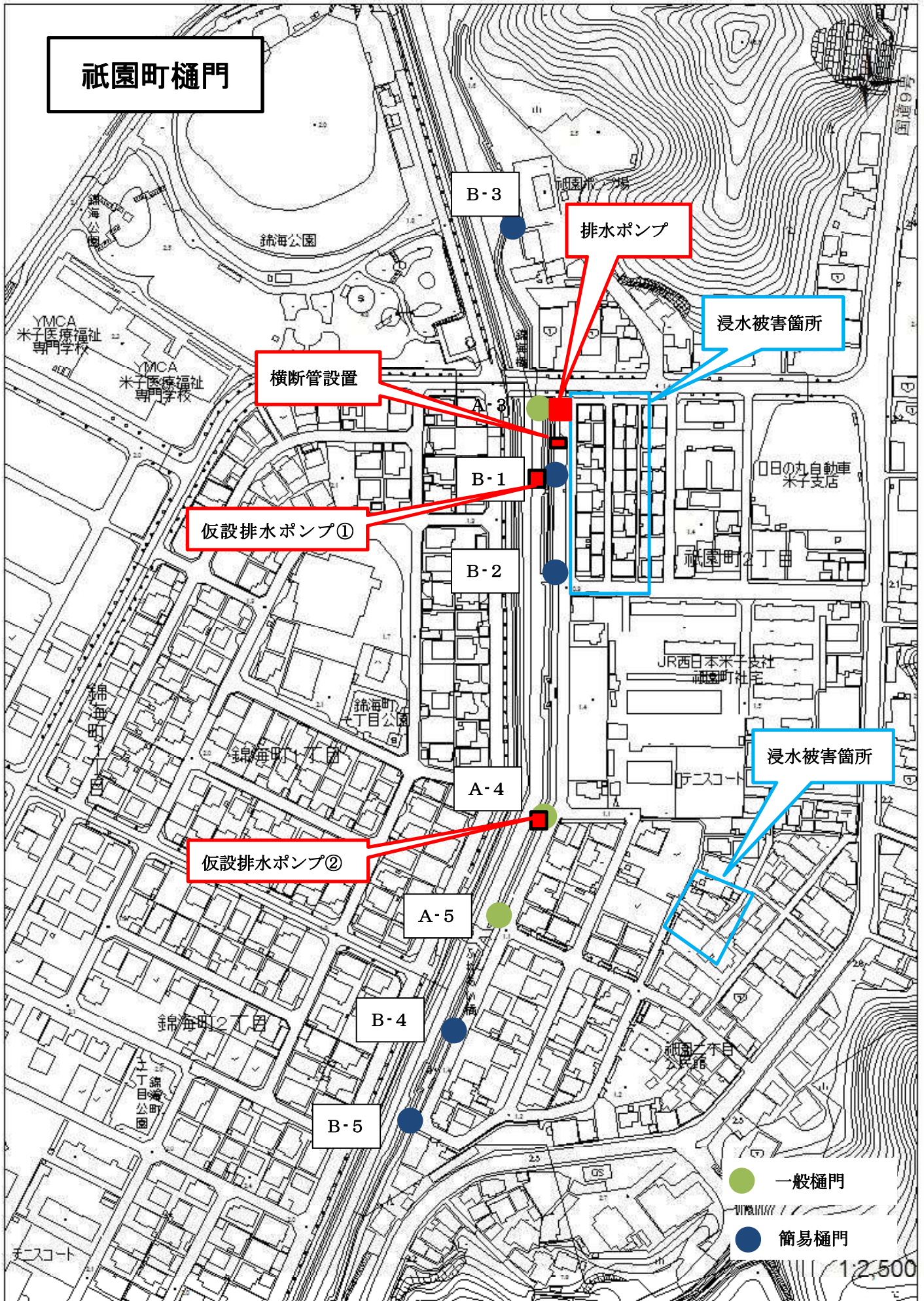


○横断管設置



○横断管設置（詳細）





(別 表)

## 中海に係る内水対策の取り組みの現状と課題、及び対応状況

(米子市都市整備部道路整備課)

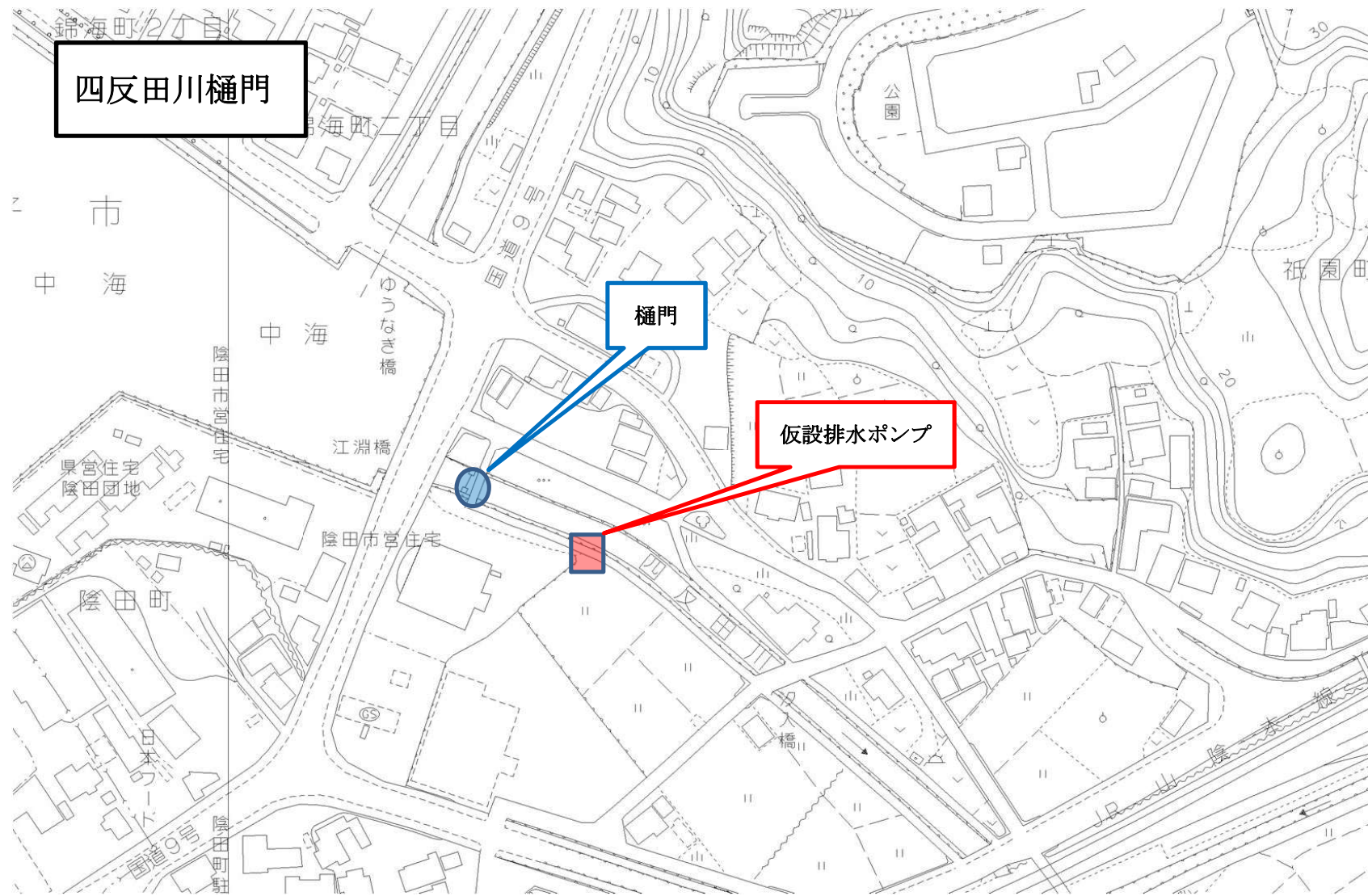
○内水対策の取り組み状況	
1. 計画事業名	準用河川四反田川樋門設置事業
2. 計画年次	平成10年度～
3. 計画箇所(エリア)	米子市陰田町地区 (別途図面、写真を添付)
4. 取り組みの概要	中海の潮位上昇に伴う準用河川四反田川からの逆流防止のため仮設排水ポンプ設置を行った。
○取り組みに対する課題等 樋門を閉じた場合、内水排除	
○課題等に対する検討・対応状況 (取り組みの進捗状況) 平成24年度から内水排除対策として仮設排水ポンプを1基設置 令和元年度も設置予定(仮設ポンプ設置期間:6月～10月)	

○樋門（下流から見て）



○仮設排水ポンプ







## 中海に係る内水対策の取り組みの現状と課題、及び対応状況

(境港市建設部管理課) NO.1

### ○内水対策の取り組み状況

- 1 計画事業名 外江地区内水対策事業
- 2 計画年次 平成 21 年度～
- 3 計画箇所 境港市 外江地区
- 4 取り組みの概要

外江地区は、家屋が連担する住宅密集地ではありますが、護岸背後の地盤が低いために高潮時には、内水等による浸水被害をたびたび受けてきました。これまでの高潮時の内水対策は、護岸背後地の排水路河口に設置されている集水桝に、移動式の水中ポンプ(仮設ポンプ)を設置して内水を排除してきましたが、これらの方法では、人員確保や稼働までに時間を要する等の問題点があったことから、これまでの問題点を解消するため固定式の内水排除ポンプ施設の整備を行い、内水対策に取り組んでいます。

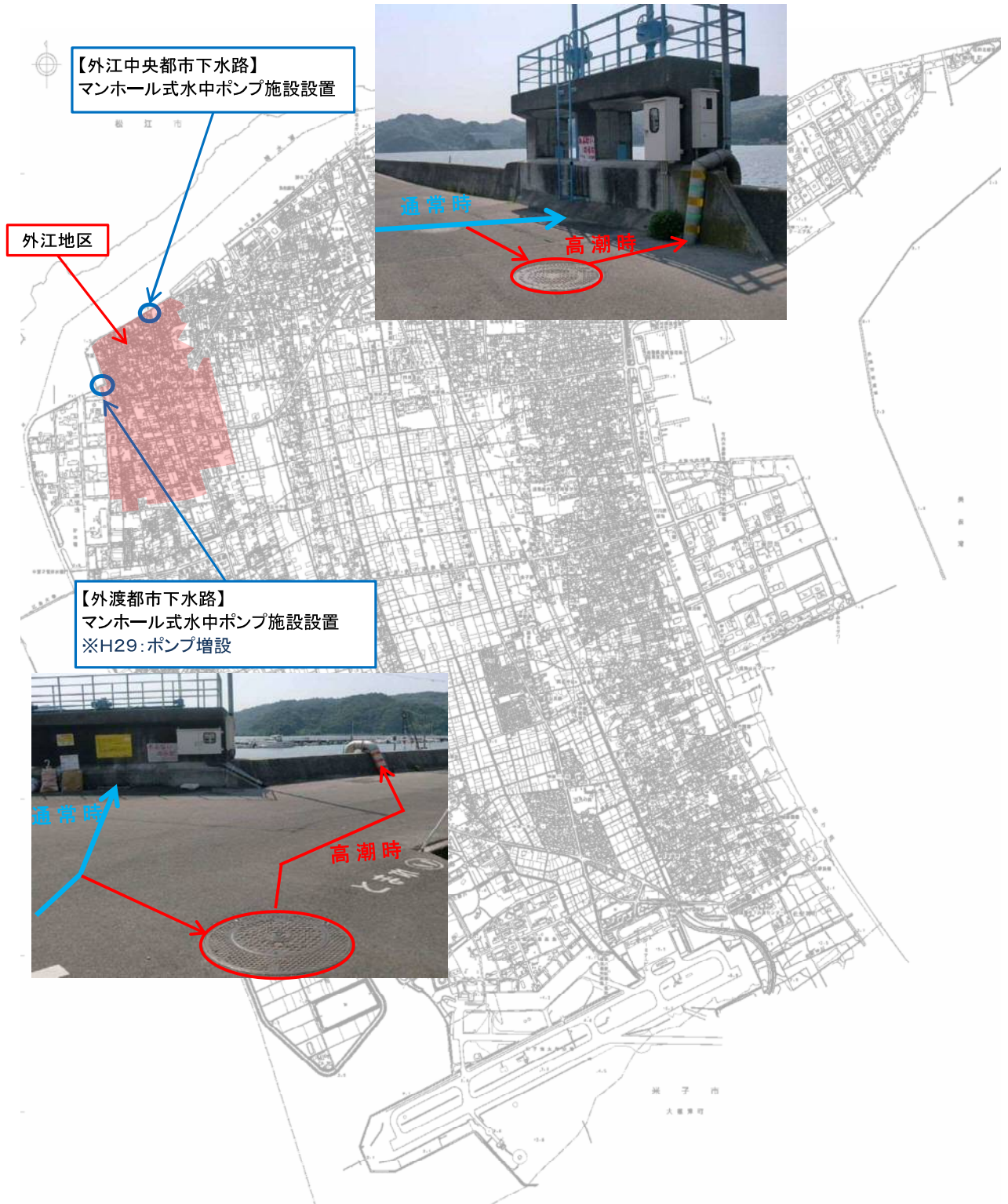
### ○取り組みに対する課題等

外江地区の内水対策については、固定式の内水排除ポンプ施設の設置により、これまでの高潮時の排水は対応できていますが、高潮と降雨が重なった時は、ポンプの容量が不足するため、移動式ポンプ(仮設ポンプ)の設置も必要となっています。公共下水道事業にあわせ、計画降雨に対応する排水機場の早期整備が必要となっています。

### ○課題等に対する検討・対応状況（取り組みの進捗状況）

- ・平成 21 年度：外江中央都市下水路最下流部にマンホール式水中ポンプ施設設置  
(設置：境港管理組合)  
(平成 28 年 3 月に境港市に移管)
- ・平成 23 年度：外渡都市下水路最下流部にマンホール式水中ポンプ施設設置  
(設置：境港市)
- ・平成 29 年度：外渡都市下水路最下流部に設置してある施設にポンプを増設。  
(設置：境港市)
- ・令和元年度：公共下水道事業計画の変更認可(認可拡大)の手続きを行い、外江地区が新たな事業認可区域となることから、今後、この計画に基づく雨水整備を進めて行く予定としている。

《外江地区内水対策事業》



## 中海に係る内水対策の取り組みの現状と課題、及び対応状況

(境港市建設部管理課) NO.2

### ○内水対策の取り組み状況

- 1 計画事業名 西工業団地排水路改修事業
- 2 計画年次 平成 24 年度～
- 3 計画箇所 境港市 西工業団地
- 4 取り組みの概要

当該地区には、民間所有の水域貯木場があり、斐伊川本線（中海）との間において湖岸堤が未整備で開口状況にあることから、高潮時には背後地の工業団地や住居地域に、その影響が及んでいます。

これらのことから、平成 22 年 9 月に策定された斐伊川水系河川整備計画において、中海湖岸堤整備の短期整備箇所に位置づけられました。

河川整備計画に基づき、湖岸堤が整備されることにより、中海と水域（貯木場）が締め切られることから、背後地域における現況の雨水排水系統を見直す必要が生じたため、本市では、現況の雨水排水系統調査を実施し、適切な排水ルートを決定するとともに、新たな排水路や樋門整備を行っているところであります。

### ○取り組みに対する課題等

雨水排水のための排水路は、現在、南北方向の排水路改修について、平成 30 年度補正予算で整備を進めています。また、来年度から 2 カ年で、東西方向の排水路の湖岸堤接続部の樋門整備を行い、その後、排水路を順次整備することにしていますが、いずれにしても、早期の整備が必要となっています。

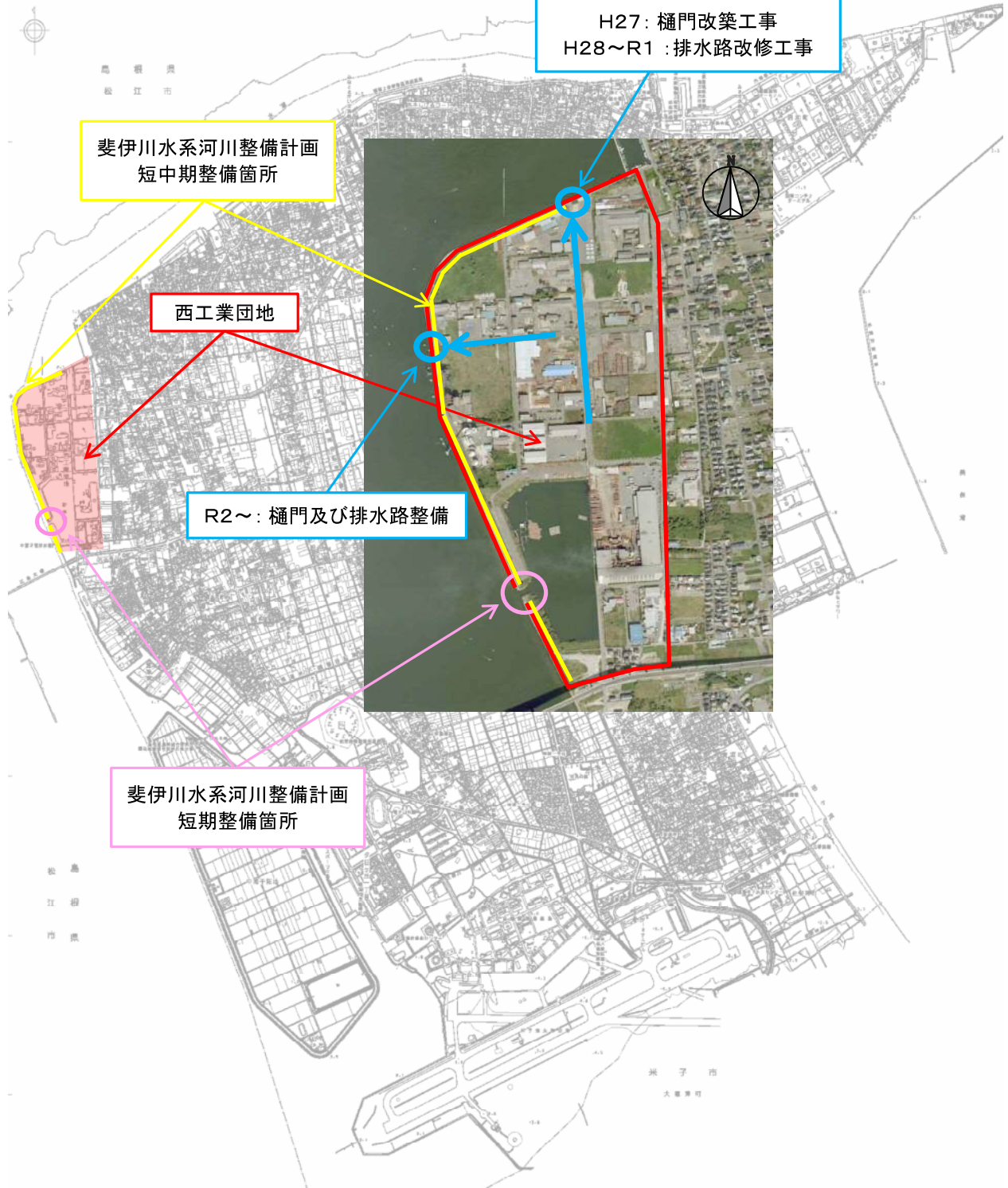
### ○課題等に対する検討・対応状況（取り組みの進捗状況）

- ・平成 24 年度：西工業団地現況雨水排水系統調査・雨水基本設計業務
- ・平成 25 年度：西工業団地雨水実施設計業務・樋門予備設計業務
- ・平成 26 年度：樋門詳細設計業務
- ・平成 27 年度：樋門改築工事(北側)
- ・平成 28 年度～令和元年度：排水路改修工事(南北)
- ・令和 2 年度～：樋門(西側)及び排水路(東西)の整備を進めていく予定としている。

《西工業団地排水路改修事業》



H27: 樋門改築工事  
H28~R1 : 排水路改修工事



斐伊川水系河川整備計画  
短中期整備箇所

西工業団地

R2~: 樋門及び排水路整備

斐伊川水系河川整備計画  
短期整備箇所

## 中海に係る内水対策の取り組みの現状と課題、及び対応状況

(境港市建設部管理課) NO.3

### ○内水対策の取り組み状況

- 1 計画事業名 渡漁港周辺整備事業
- 2 計画年次 平成 22 年度～
- 3 計画箇所 境港市 渡漁港周辺地区
- 4 取り組みの概要

斐伊川水系では、河川河整備計画を基に国、関係自治体が連携し順次浸水対策を進めており、『渡漁港』は、斐伊川水系・中海湖岸堤整備箇所のうち早期整備を目指す短期整備箇所に位置づけられ、優先的に整備を進めてきたところであります。

国事業である『渡漁港』の海側への移設(湖岸堤整備)により、中海からの直接的な浸水被害は解消されますが、渡漁港周辺地区は、「地盤が低いことによる浸水」や「道路が狭小」など、防災上の問題があることから、国が行う湖岸堤整備とあわせて、旧漁港を埋立、その敷地を活用し、「内水排除施設」や「周辺道路の拡幅」を行うことで、渡漁港周辺地区の安全で安心して快適な生活環境の実現を目指します。

### ○取り組みに対する課題等

内水排除施設については、平成 30 年度から排水機場の躯体工事に着手していますが、年次計画にそった予算の確保や交付金などの財源を確保する必要があります。

### ○課題等に対する検討・対応状況（取り組みの進捗状況）

- ・平成 22 年度～平成 23 年度：測量・設計・用地
- ・平成 24 年度～平成 27 年度：湖岸堤整備(渡漁港移設)
- ・平成 28 年度：旧渡漁港埋立
- ・平成 27 年度～：道路拡幅整備
- ・平成 30 年度～：内水排除施設整備

《渡漁港周辺整備事業》



○内水対策の取り組み状況

1. 計画事業名 河川・排水路改良事業
2. 計画年次 通年
3. 計画箇所（エリア） 松江市大井町地内～美保関  
(別添図面)

4. 取り組みの概要

地元要望等に基づき、松江市内全域を対象に行っている河川排水路改良工事のなかで、中海沿岸の普通河川においても、内水対策のため改良工事を実施している。

また、治水対策の一環として、中海に放流する普通河川についても浚渫事業に取り組んでいる。

○取り組みに対する課題等

限られた事業費の中で、市内全域を対象とした事業であり、中海の計画エリアに集中して投資できないため、中海の湖岸堤整備にあわせ、普通河川及び排水路の取付け区間を十分確保し整備願いたい。

○課題に対する検討・対応状況（取り組みの進捗状況）

- ① 新庄地区は、平成 28 年度に平地川改修（ブロック積護岸）事業により、20m施工した。なお、平成 17 年度から平成 29 年度までの間、改修工事を実施しており、413m施工済みである。

今後の当地区における河川改修については、昨年度から事業着手した圃場整備事業【新庄地区農地中間管理機構関連農地整備事業（事業主体：島根県、事業工期 H30～H35 予定）】において、圃場整備区域内の改修を進めていくこととしており、現在は事業内での河川整備設計計画の協議中である。

また、平成 27 年度から平成 29 年度には、逆流防止施設の整備を行った。

- ② 長海地区は平成 28 年度に出雲河川整備事務所による護岸整備に伴い樋門が完成し、平成 29 年 2 月に引き渡しを受け、松江市河川課で維持管理を行っている。また、湖岸堤整備と連携した内水浸水対策として上流側の排水路整備を計画しており、平成 28 年度は測量調査業務、平成 29 年度は用地測量を実施した。

- ③ 東出雲地区は、都市計画道路揖屋馬潟線の道路整備に合わせて、樋門等の改修を計画しており、今年度は、座頭川の樋門改修工事を実施する。

○内水対策の取り組み状況

1. 計画事業名 下水道雨水事業

2. 計画年次 令和元年度～令和5年度

3. 計画箇所 東出雲町地内（別添図面）

4. 取り組みの概要

浸水被害の軽減を図るため、中海に接続する雨水渠については、平成28年度から平成30年度に管渠及び、逆流防止施設の整備を行った。

昨年度、新たに5か年の雨水整備計画を策定し、雨水渠の整備を継続して行うこととしている。

また、平成29年度から実施した排水機場ゲートの改良は、平成30年度に完成し、現在は供用を開始している。

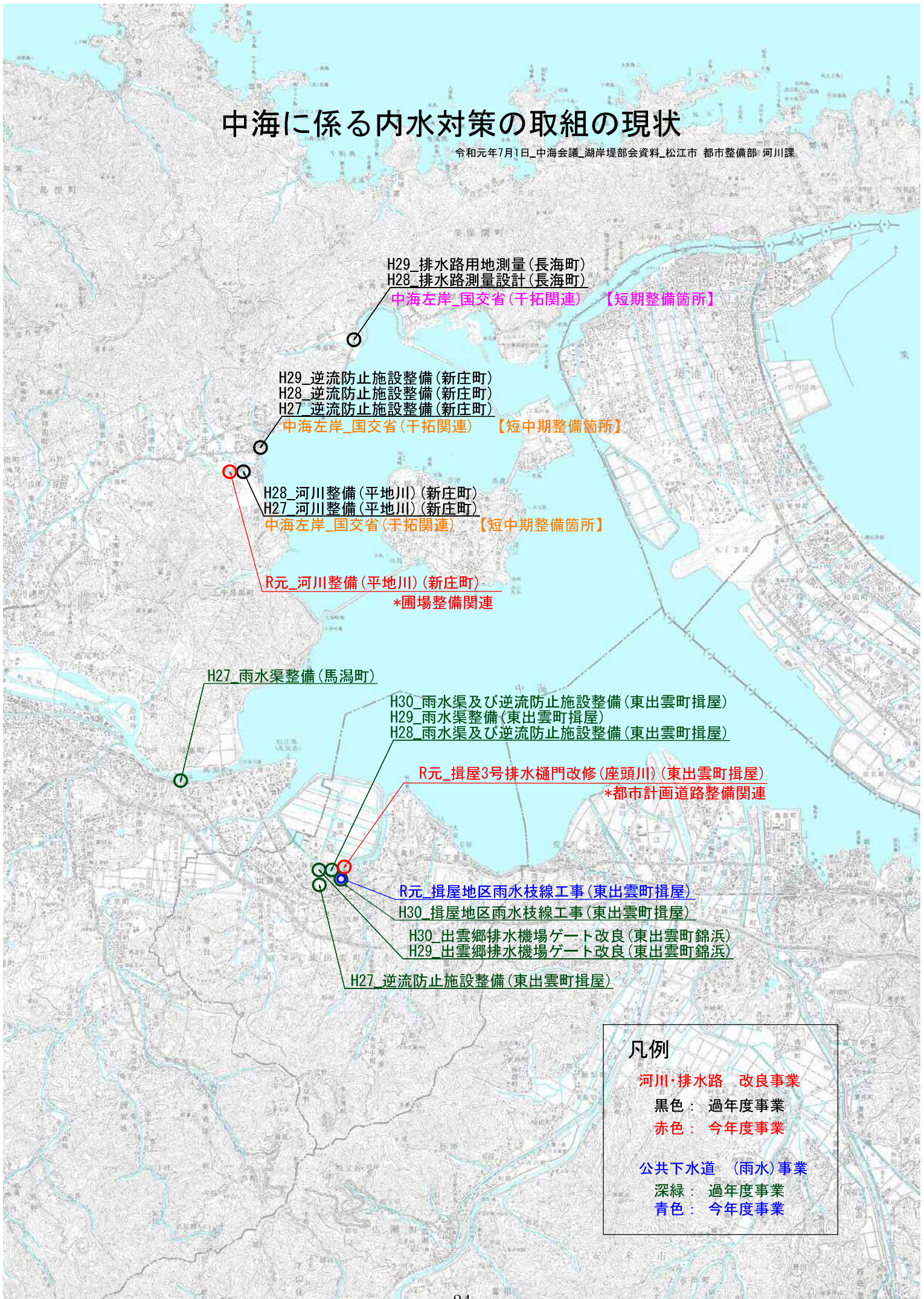
○取り組みに対する課題等

○課題に対する検討・対応状況（取り組みの進捗状況）



# 中海に係る内水対策の取組の現状

令和元年7月1日\_中海会議\_湖岸堤部会資料\_松江市 都市整備部 河川課



## 凡例

河川・排水路 改良事業

黒色： 過年度事業

赤色： 今年度事業

公共下水道 (雨水) 事業

深緑： 過年度事業

青色： 今年度事業

## 中海に係る内水対策の取り組みの現状と課題、及び対応状況

(安来市 上下水道部 下水道課)

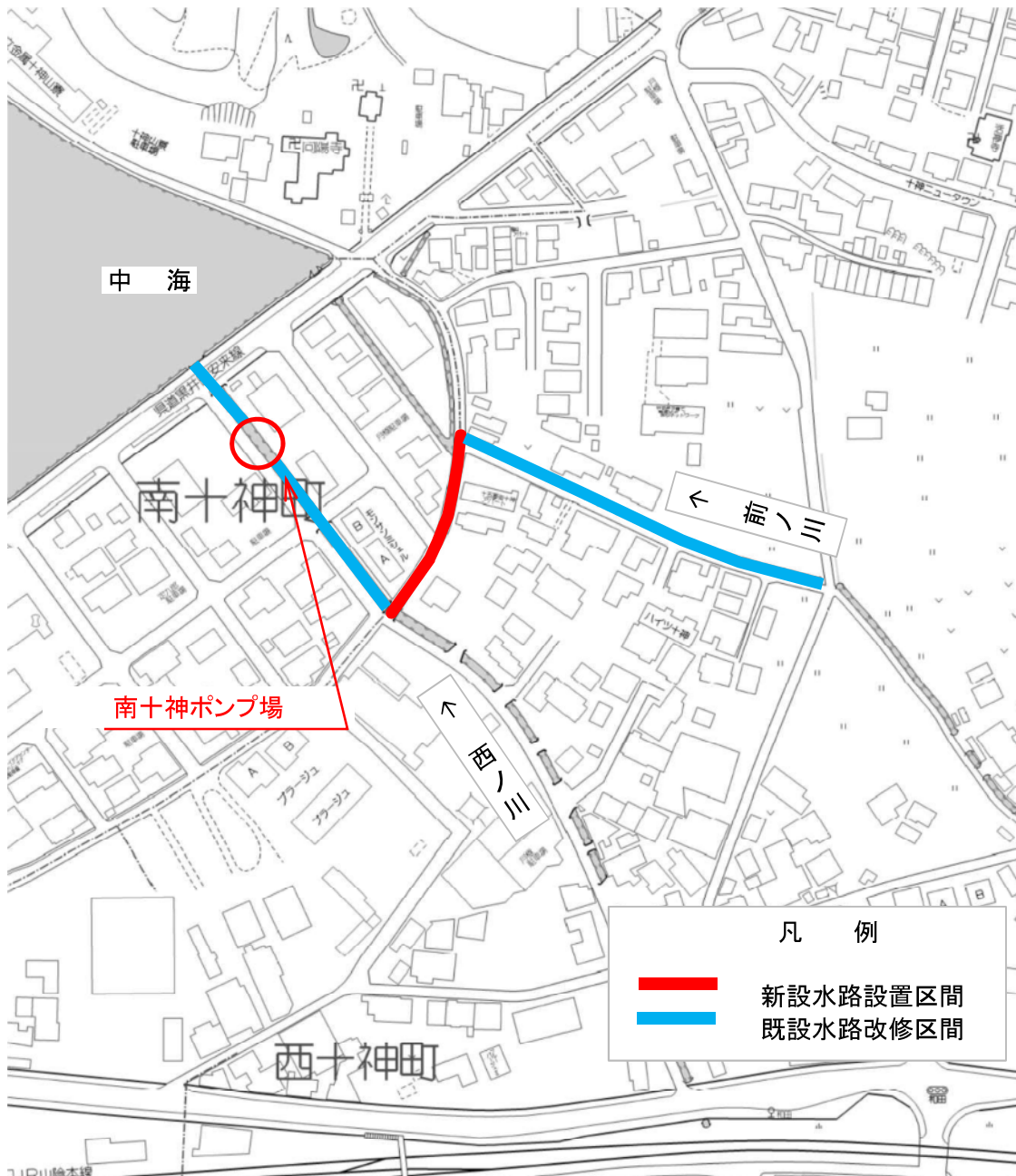
### ○内水対策の取り組み状況

1. 計画事業名            下水道雨水排水整備事業 南十神地区
2. 計画年次            平成25年度 ～ 平成30年度
3. 計画箇所            安来市 南十神地区 (別添位置図を参照)
4. 取り組みの概要
  - 1) 西ノ川水路と前ノ川水路を連結し下流で1本化を図る。
  - 2) 中海の潮位上昇による逆流防止と洪水時の内水排除のためにゲートポンプを設置する。
    - H25～H26 調査設計
    - H26～H27 西ノ川前ノ川連結水路工事 西ノ川改修工事
    - H27～H28 ゲートポンプ製作 ゲートポンプ躯体下部工事
    - H28～H29 ゲートポンプ躯体上部工事及び据付
    - H28～H29 電気設備棟建屋工事及び電気設備工事
    - H29.10 ポンプ場供用開始
    - H29～H30 前ノ川改修工事

### ○取り組みに対する課題等

### ○課題等に対する検討・対応状況 (取り組みの進捗状況)

# 下水道雨水排水整備事業 南十神地区 位置図



( 別 表 )

## 中海に係る内水対策の取り組みの現状と課題、及び対応状況

(鳥取県 空港港湾課)

<p>○ 内水対策の取り組み状況</p> <p>【米子港】</p> <p>(湖岸堤)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・短期整備区間は整備済み。</li><li>・短中期整備区間のうち、中海・錦海かわまちづくり計画に関連する区間以外は整備済み。</li><li>・短中期整備区間のうち、中海・錦海かわまちづくり計画に関連する区間は国土交通省と調整中。</li></ul> <p>(移管)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・背後に港湾施設の無い地域の護岸の引き継ぎについて国土交通省から具体的な移管条件が示されており、移管条件を整理中。</li></ul>
<p>○ 取り組みに対する課題等</p> <p>【米子港】</p> <p>(湖岸堤)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・中期整備区間の湖岸堤の設置位置や構造が未決定。</li></ul> <p>(移管)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・護岸の国土交通省への移管にあたり、具体的に示された移管条件の整理に期間等を要する。</li></ul>
<p>○ 課題等に対する検討・対応状況 (取り組みの進捗状況等)</p> <p>【米子港】</p> <p>(湖岸堤)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・中期整備区間の設置位置や構造について、引き続き国土交通省と調整を行う。</li></ul> <p>(移管)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・移管条件の整理を進めながら、引き続き国土交通省と調整を行う。</li></ul>

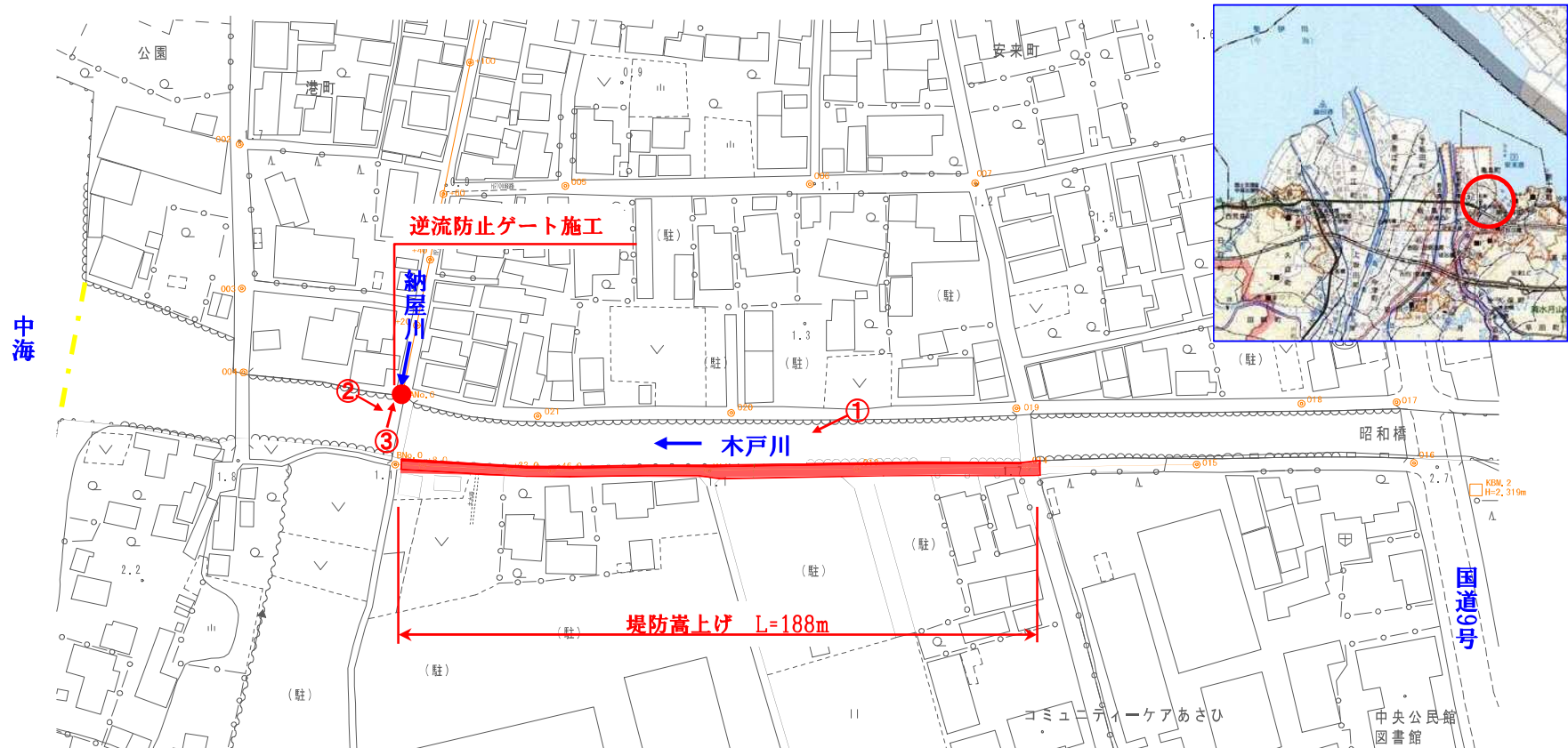
( 別 表 )

## 中海に係る内水対策の取り組みの現状と課題、及び対応状況

(島根県土木部河川課)

<p>○ 内水対策の取り組み状況</p> <p>1. 計画事業名 吉田川、木戸川浸水対策事業</p> <p>2. 計画年次 平成24年度～平成28年度</p> <p>3. 計画箇所(エリア)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・一級河川吉田川 安来市下坂田町福井地区 (別添資料参照)</li><li>・一級河川木戸川 安来市安来町河口付近 (別添資料参照)</li></ul> <p>4. 取り組みの概要</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・一級河川吉田川 「福井団地」の浸水対策として、平成24年度に中海計画高水位までの堤防嵩上げ、平成25年度に大型水路の逆流防止ゲートの工事が完了し、当面の対策は完了。</li><li>・一級河川木戸川 木戸川河口部の浸水対策として、平成26年度に中海計画高水位までの左岸堤防嵩上げ工事が完了。平成28年度には、納屋川の逆流防止ゲートが完了し、当面の対策は完了。</li></ul>
<p>○ 取り組みに対する課題等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・一級河川吉田川 福井大橋から飯島橋(国道9号)の間については、計画堤防高が確保されていない。</li><li>・一級河川木戸川 河口から昭和橋(国道9号)の間については、計画堤防高が確保されていない。</li></ul>
<p>○ 課題等に対する検討・対応状況 (取り組みの進捗状況等)</p> <p>現在、吉田川、木戸川ともに上流区間の改修を優先的に進めており、こうした継続事業の状況を勘案しながら対応していく。</p> <p>なお、木戸川河口部については、現在、国が行う中海湖岸堤整備と調整中。</p>

# 木戸川河口部浸水対策について



# 吉田川河口部浸水対策について



## 中海に係る内水対策の取り組みの現状と課題、及び対応状況

(島根県 農林水産部農村整備課)

<p>○内水対策の取り組み状況</p> <p><b>1. 島田地区国営代行干拓事業</b> 位置：安来市島田町 工期：昭和 26～38 年度 概要：農地等造成 37.3ha (田 33.3ha、畑 1.8ha、その他 2.2ha) ※干拓堤防延長 約 1.8km</p> <p><b>2. 島田地区干拓堤防の管理</b> 管理対象：干拓堤防 (延長 1.8km、土地 1.4ha) 堤防管理者：島根県 管理委託協定 S62.4.1 付け、 委託者：農林水産省 受託者：島根県 管理概要：県単予算により管理 H14～草刈り等管理実施 H20～堤防補修 (段階的) 実施 H22 堤防全区間補修 L=1,730m、事業費 1.4 億円</p>
<p>○取り組みに対する課題等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 地元から、国土交通省への堤防移管の要望あり。</li><li>・ 農政局・島根県・国土交通省出雲河川事務所で移管についての協議を継続して実施しているが、築堤目的が農地の保全であること、堤防の健全度の確保等の課題がある。</li></ul>
<p>○課題等に対する検討・対応状況 (取り組みの進捗状況等)</p> <p>農政局、国土交通省出雲河川事務所、県で移管についての協議を継続中。</p> <p>(現状)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 移管対象施設の構造等の資料を出雲河川事務所へ提出。</li><li>・ H25 年度に対象施設の追加調査として、堤防の健全度調査を実施。 〔調査結果〕→島田地区干拓堤防の最下流部 580m について対策が必要。</li><li>・ H27.6 に出雲河川事務所に調査結果を説明し、要対策区間 580m を確認。</li><li>・ H28.2 に安来市と協議し、後背地の利用・開発状況の変化と地域住民の意向を確認しながら国交省との移管協議を継続することと、地震時の点検等の管理は県で適切に行うことを確認。</li><li>・ H30.12 に出雲河川事務所と情報交換を行ったが、浸水被害の発生するおそれが少ないこと、後背地の利用・開発状況、地元要望の状況等をふまえると、現時点では、移管を受けるのは困難との見解が改めて示された。</li><li>・ R1.6 に安来市と情報交換し、その後の利用状況や地元の意向に大きな変化がないことを確認。</li><li>・ 今後も、上記調査結果を含め、移管に係る協議を継続。</li></ul>